

アンケート結果の送付

2010 年 3 月 11 日

東京理科大学 河野研究室

修士課程 2 年 平川雅章

拝啓 早春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

過日は「構造図・構造計算書の公開」に関するアンケートにご回答頂き、ありがとうございました。お陰様を持ちまして、修士論文を無事取り纏めることが出来ました。ここに、アンケート結果を集計したものをお送り致します。ご報告かたがた、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

敬具

表 1 アンケート概要

[アンケートの目的]

- ・構造図・構造計算書の公開は、構造設計者と建築確認の審査者双方の倫理観・責任感の涵養を図り、過度の法的規制によらない耐震強度偽装の防止を実現できる可能性がある。この提案の有効性・実現性について検討するため、一般人・専門家それぞれへ、アンケートを実施した。

[アンケートの種類]

- ・アンケートは「アンケート A」、「アンケート B」の 2 種類
- ・「アンケート A」(Q.1-1～Q.4-7)は、一般人と専門家を対象。一般人と専門家の認識の違いを調べることを目的とする
- ・「アンケート B」(Q.5-1～Q.5-6)は、専門家のみを対象。構造図・構造計算書の公開方法等についての具体的な方策を調べることを目的とする
- ・アンケート結果に記入してあるアンケート文は、専門家向けのものを示してある。一般人向けは、[]内に示した。

[一般人向け]

- ・実施：2009.8.17～8.18
- ・インターネット上でのアンケート配布・回収（株式会社 ネットマイルにて実施）
- ・住宅に関する興味が高いと想定される「最近、10 年位までに住宅を購入した人」、「今後 5 年以内に住宅を購入する予定がある人」を対象とした
- ・建設・土木業、建築設計、建築行政・建築確認審査関係を職業とする人はあらかじめ除外した
- ・有効回答数：500 通

[専門家向け]

- ・実施：2009.11.15～11.30
- ・以下の 3 通りで、アンケートを配布。FAX,Email で回収
（社）茨城県建築士事務所協会構造部会関係者を介して
インターネット上の掲示板への掲載
河野研究室メンバーの知己を介して
- ・有効回答数：39 通

回答者の属性

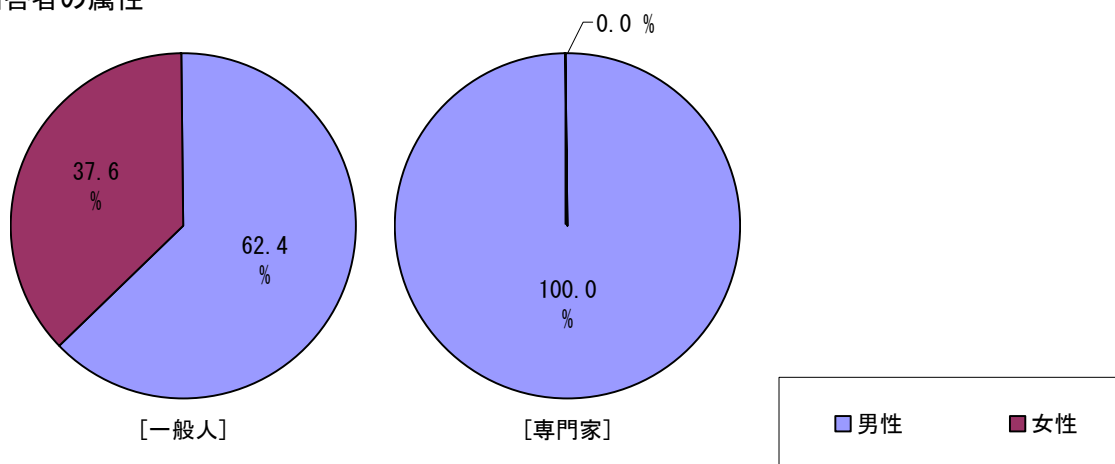


図1 回答者の男女比

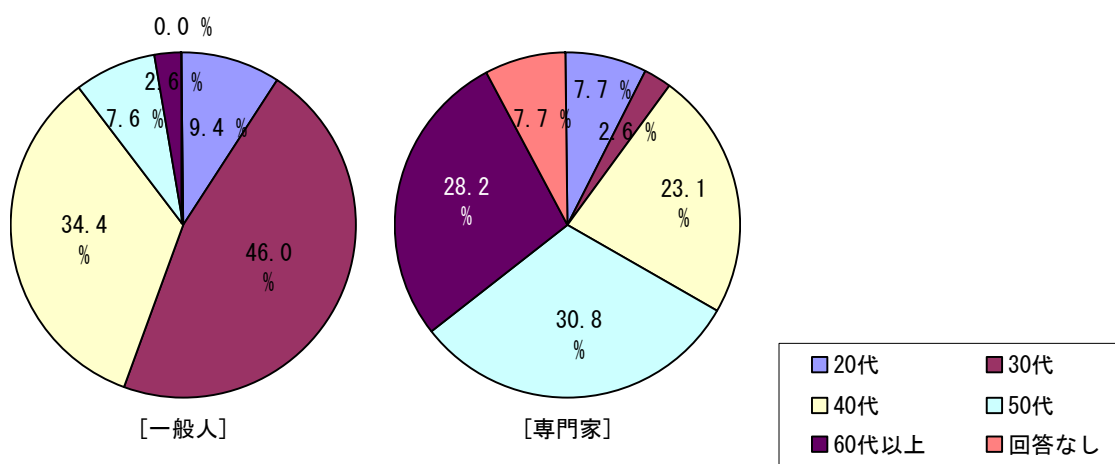


図2 回答者の年齢分布

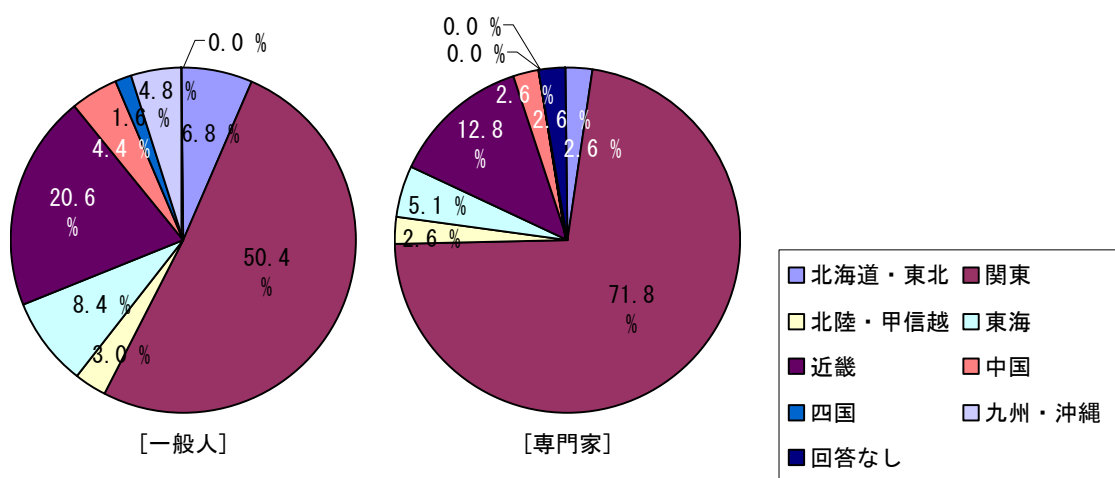


図3 回答者の居住地分布

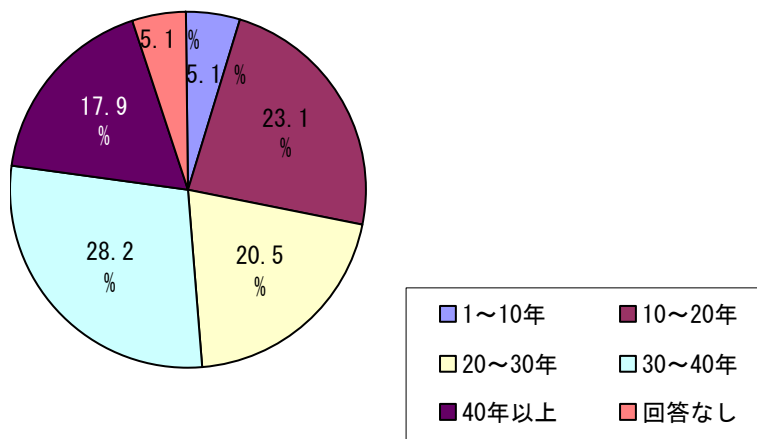


図4 回答者（専門家）の実務経験年数分布

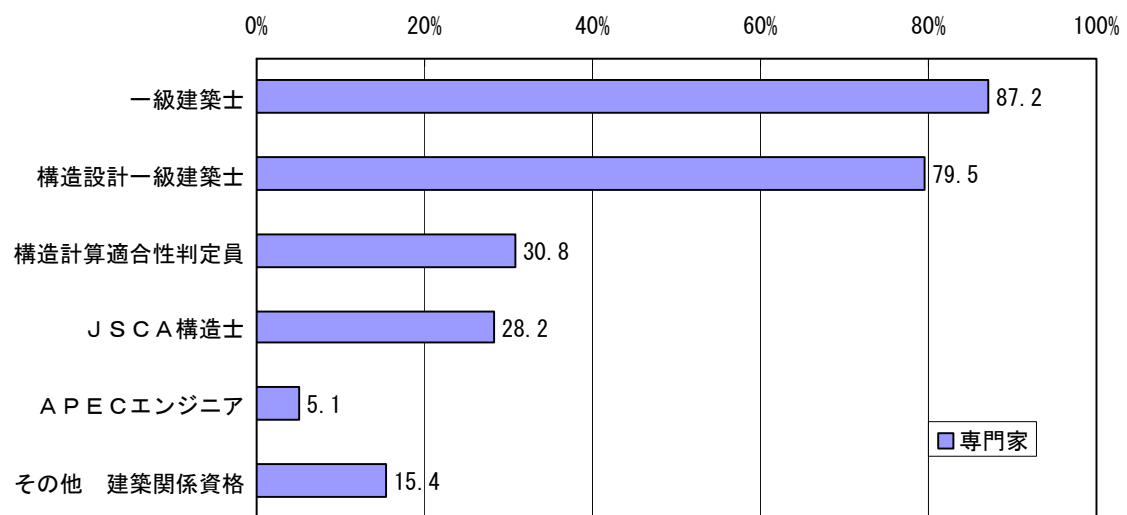


図5 回答者（専門家）の保有資格

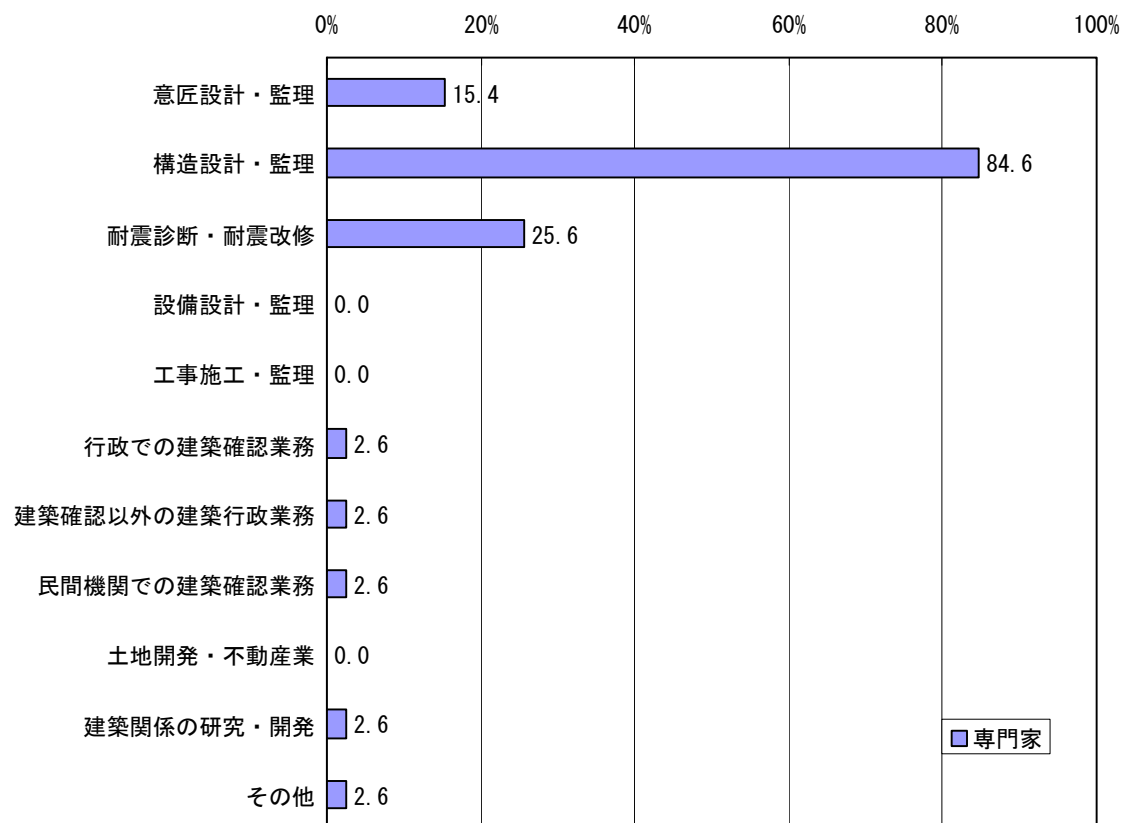


図6 回答者（専門家）の主な業務内容

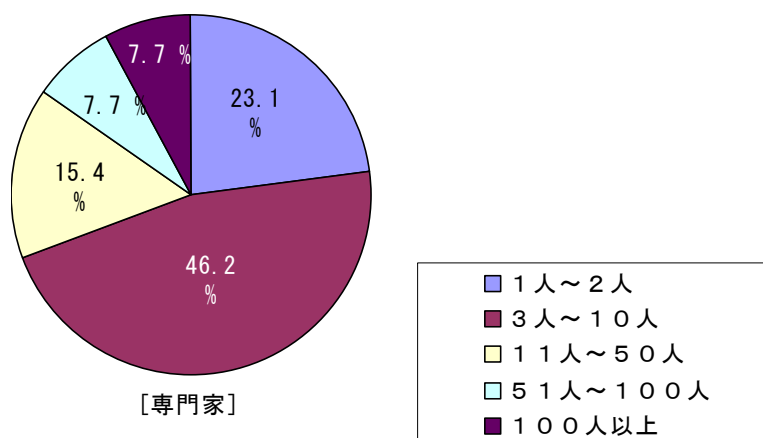
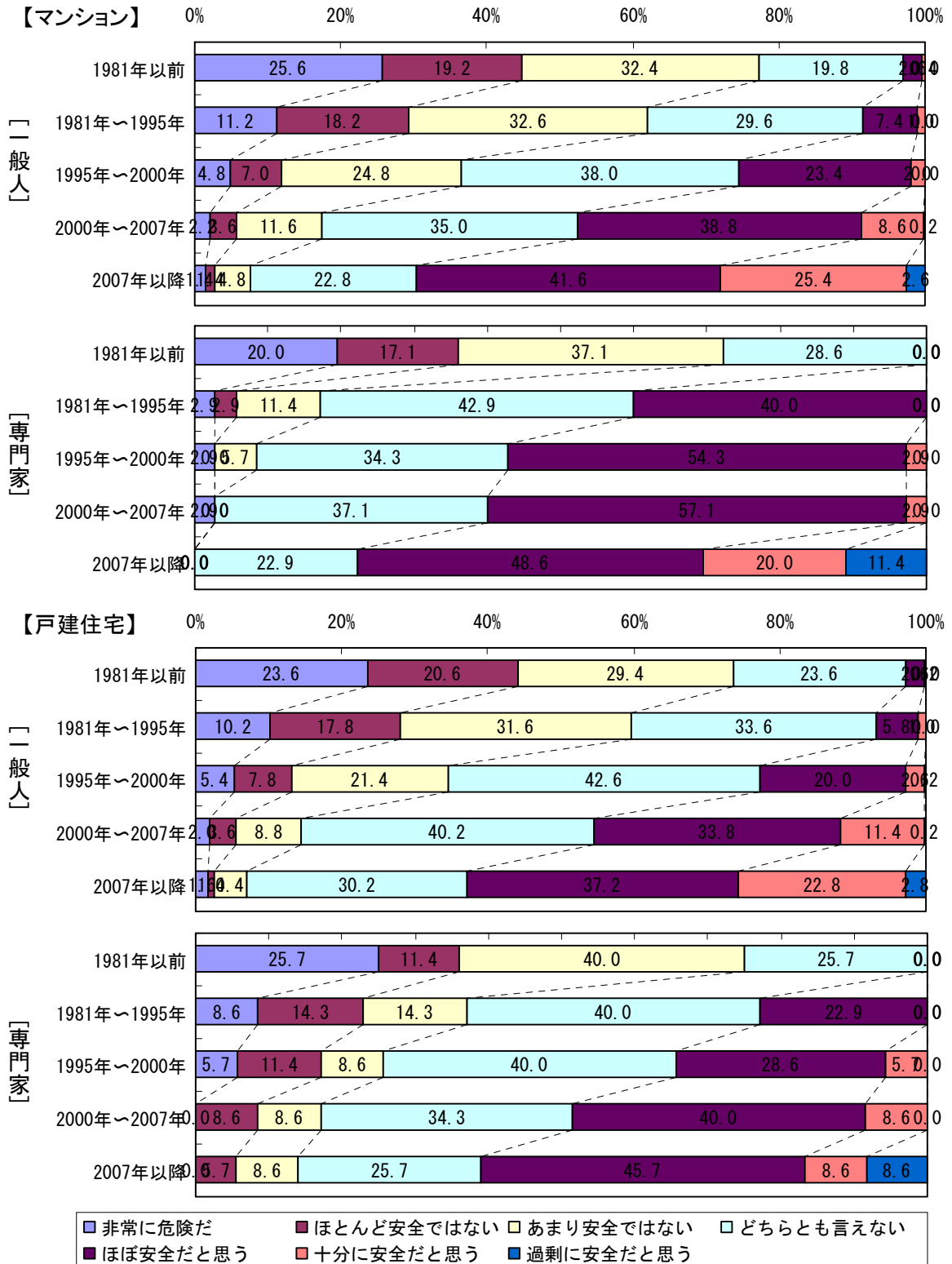


図7 回答者（専門家）の勤務先の従業員数

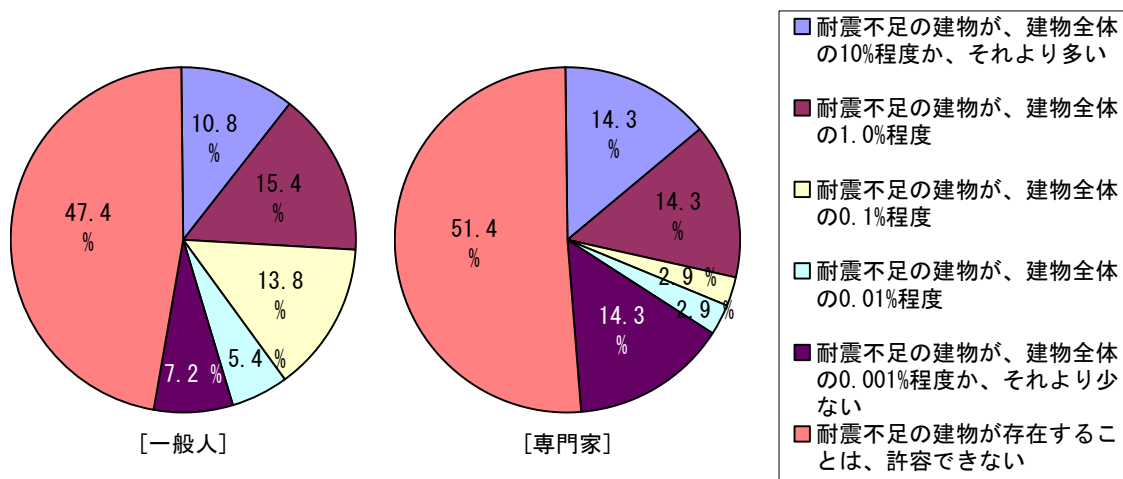
【 アンケートA 】

Q.1 現状の建築の耐震性について

Q.1-1, Q.1-2 日本の実際の地震による被害を見て、日本の建築の耐震性はどの程度だと感じますか？（単一選択）

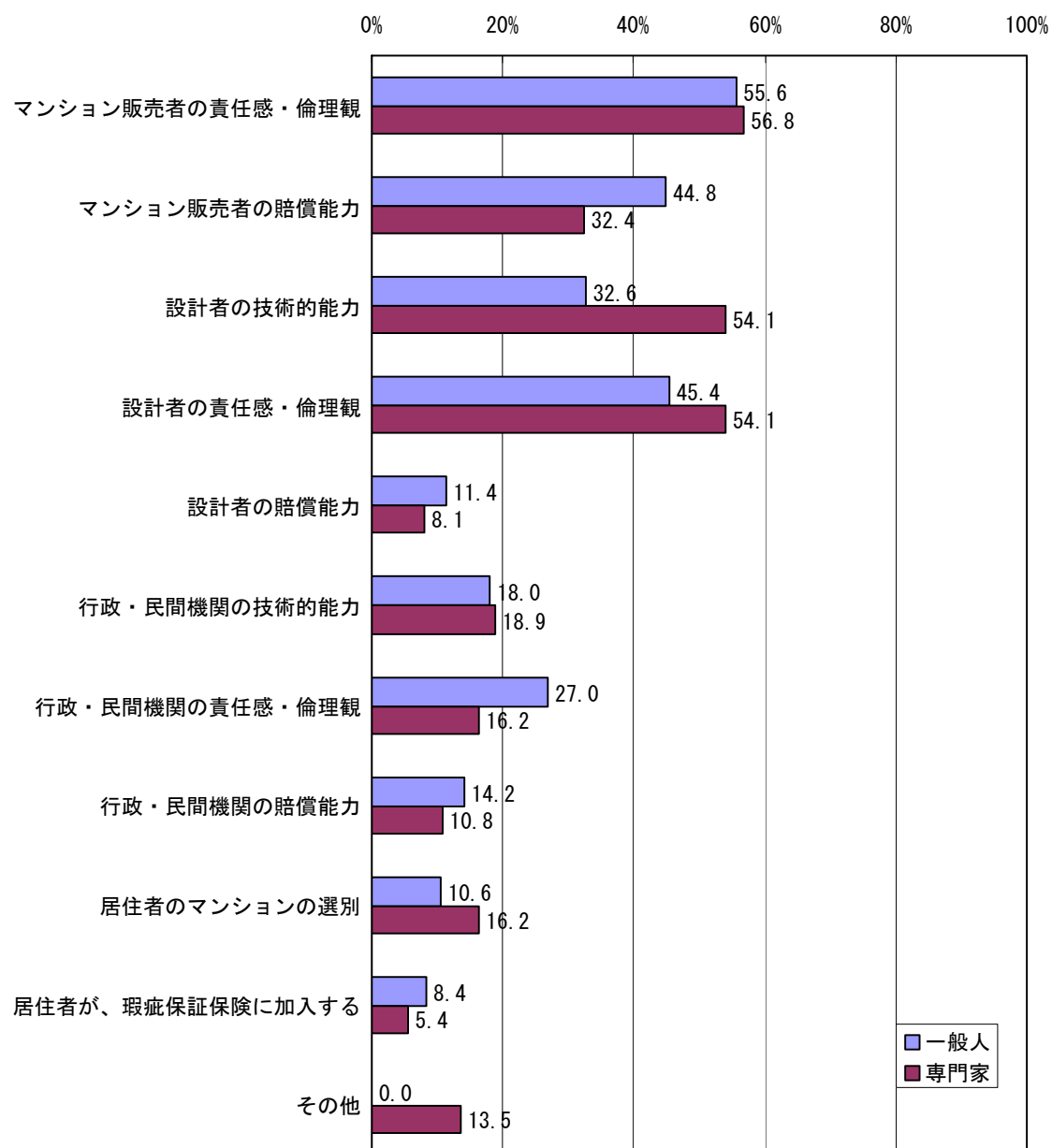


Q.1-3 新築のマンションについて、どの程度の割合なら耐震性不足のマンションが供給されてもしかたがないと思いますか？[一般向け:もし、あなたが新築の分譲マンションを購入しようとするとき、どの程度なら耐震性不足のマンションに当たってしまう確率を許容できますか？]（単一選択）

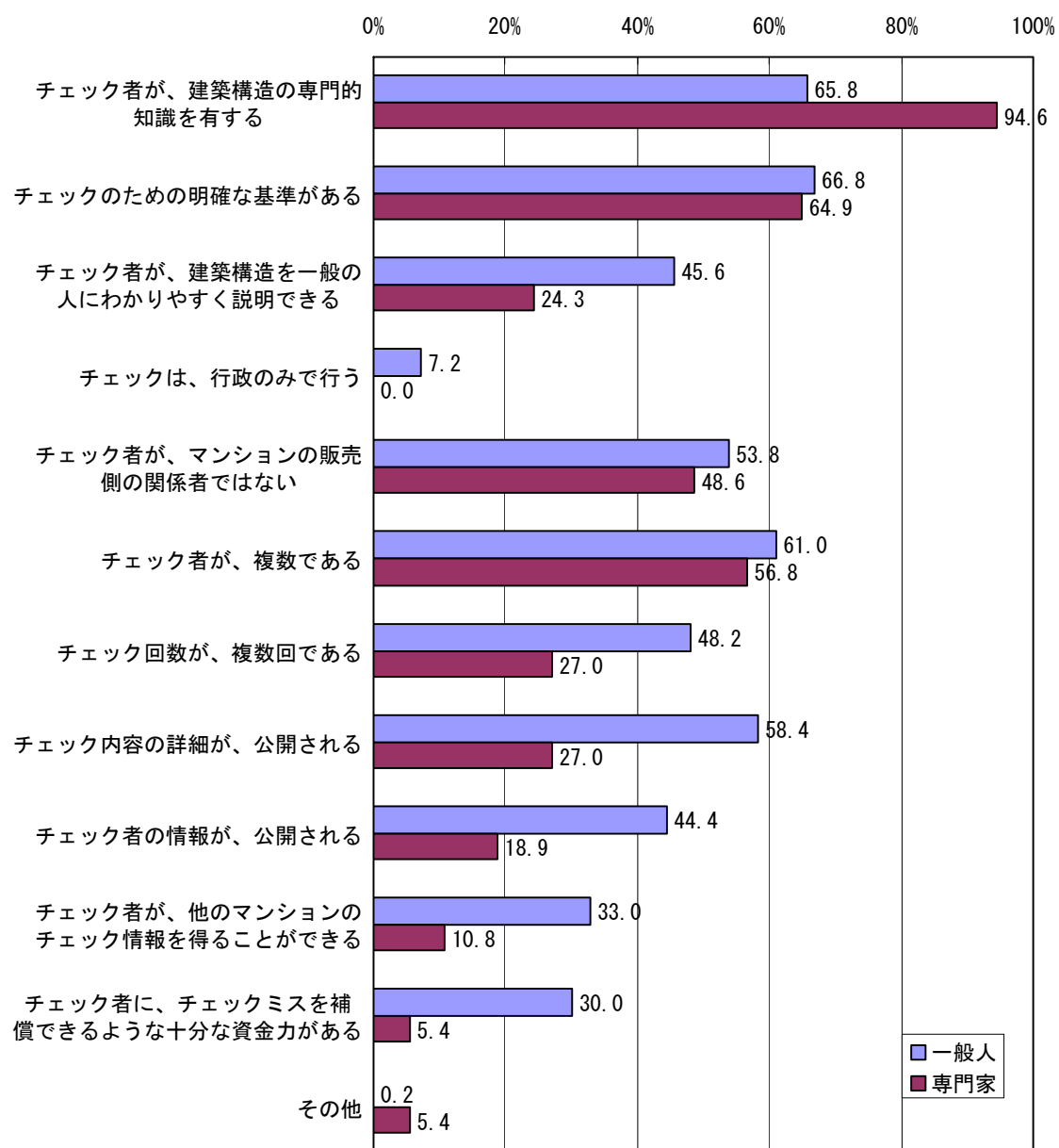


Q.2 チェックのための要件と責任について

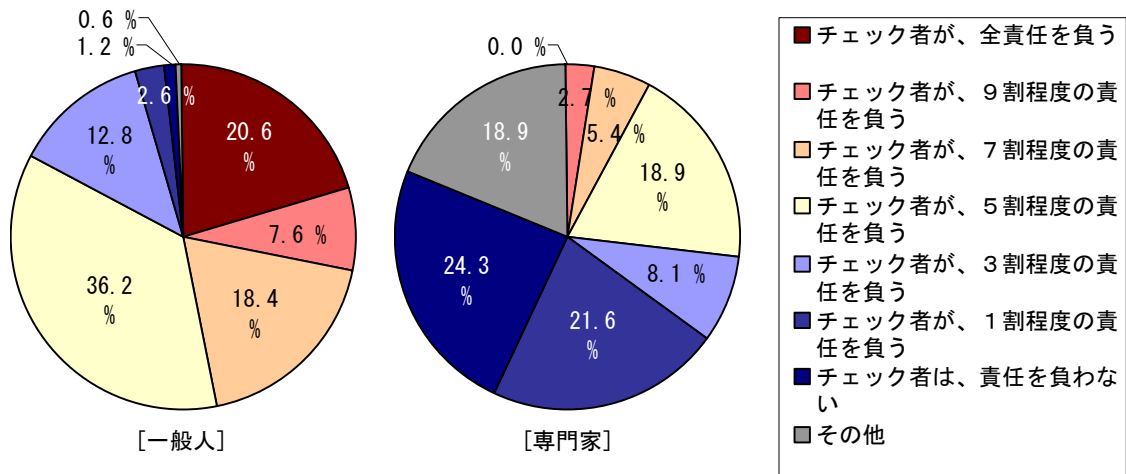
Q.2-1 購入者にとって安心なマンションを供給するために[一般向け:あなたがマンションを安心して購入するために] 重要だと思う事はどれですか？(3 つまで選択)



Q.2-2 建物のチェックをするために適しているのは、どのような条件を満たしていることだと思いますか？（複数選択）

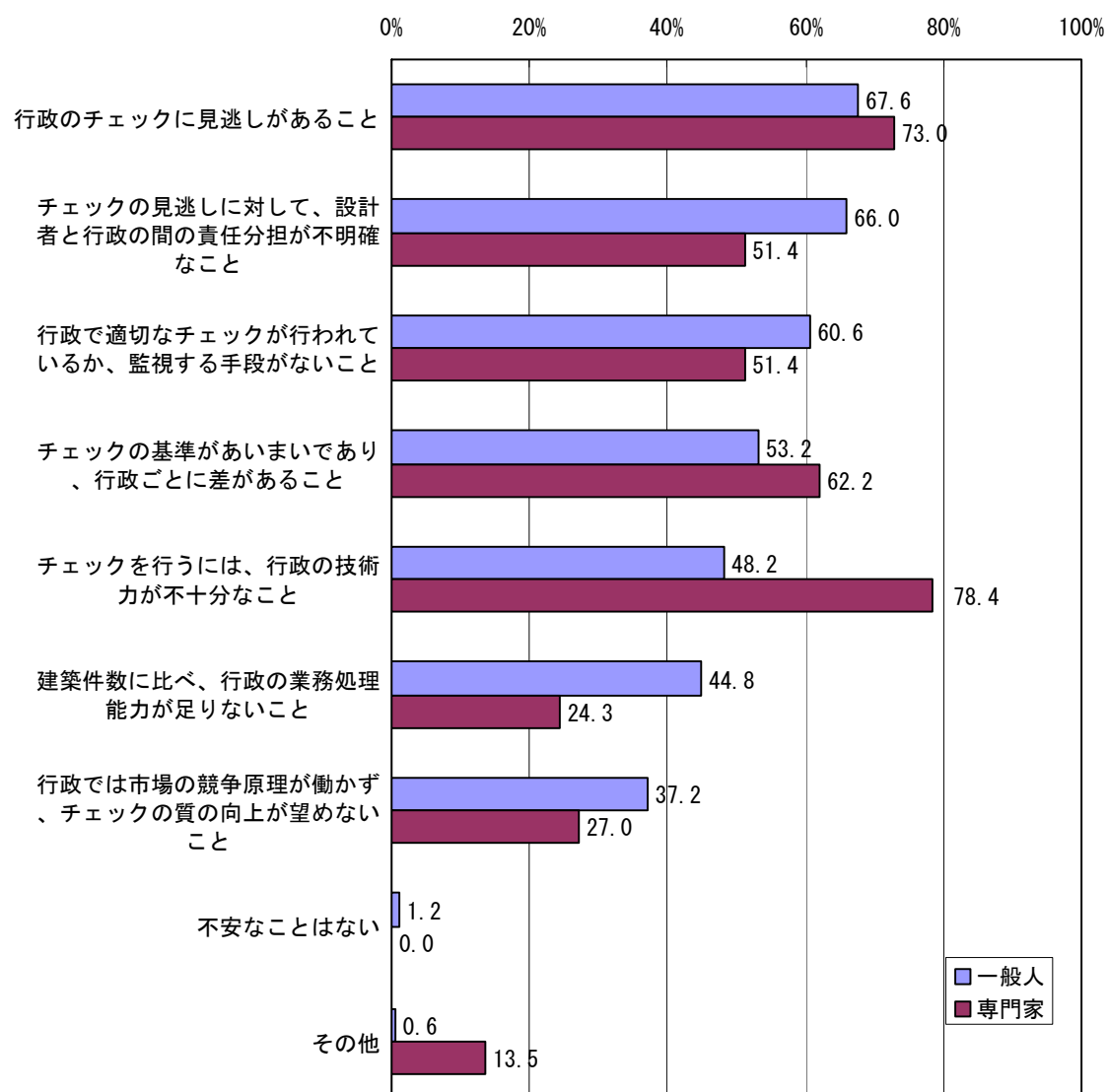


Q.2-3 構造計算書偽造事件のように、チェック者が不正を見逃してしまった場合、チェック者にはどの程度の責任があると思いますか？（単一選択）

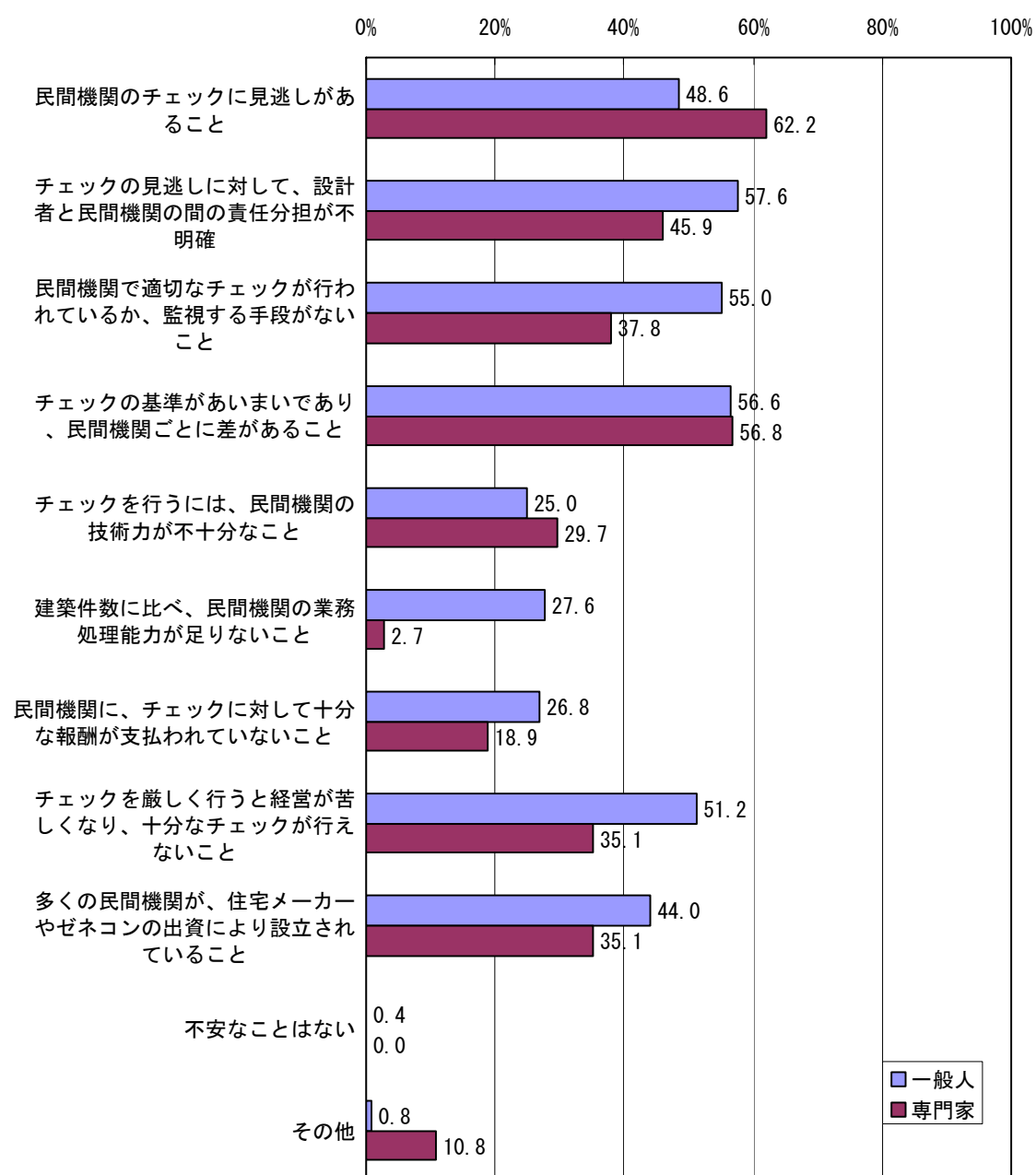


Q.3 行政または民間機関で行われているチェックについて

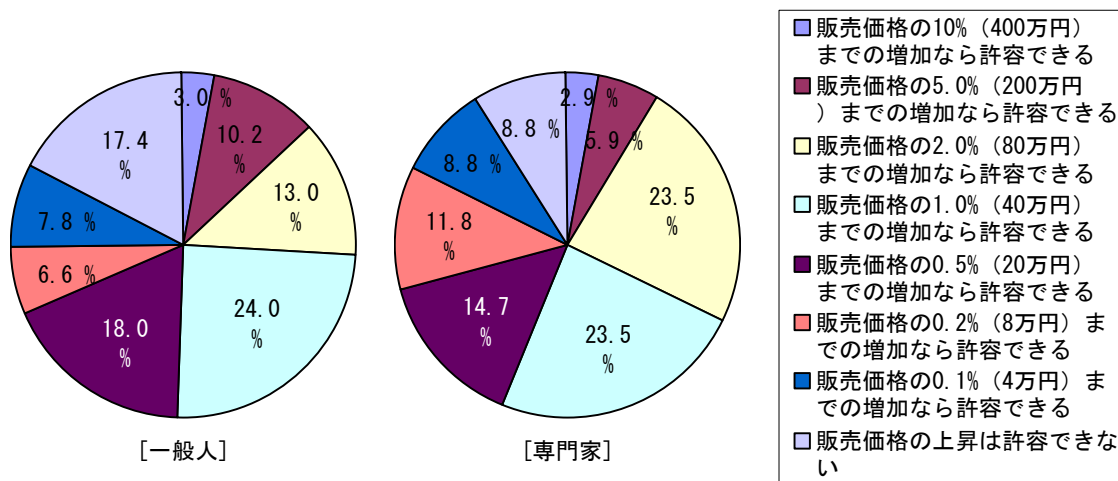
Q.3-1 行政のチェックで起こりうるだろうと思える問題点は何ですか？（複数選択）



Q.3-2 民間機関のチェックで起こりうるだろうと思える問題点は何ですか？（複数選択）

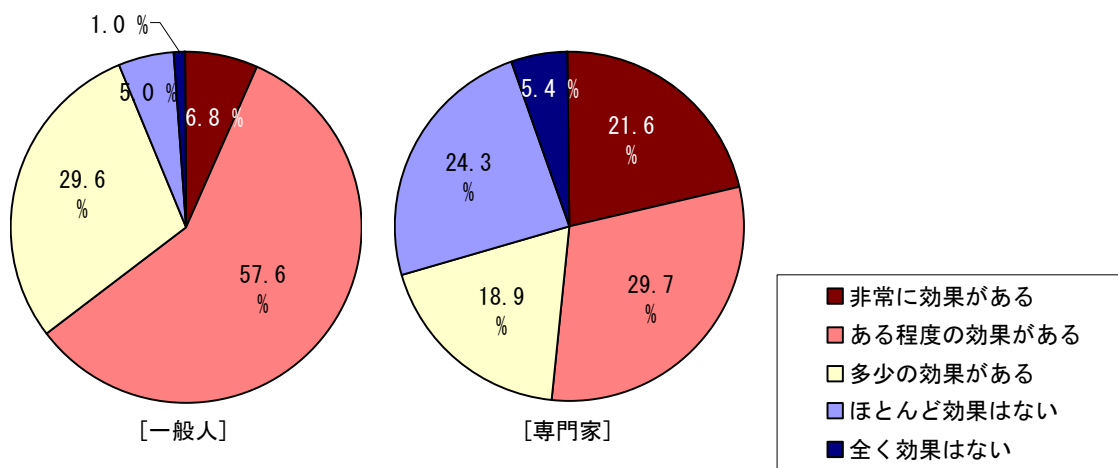


Q.3-3 行政や民間機関のチェックの問題点を改善した結果、チェック費用・期間が増大し、最終的にマンションの販売価格に上乗せされることが予想されます。どの程度までの費用増加なら、購入者が許容して支出してくれると思いますか？〔一般向け:どの程度までの費用増加なら許容できますか？〕（単一選択）

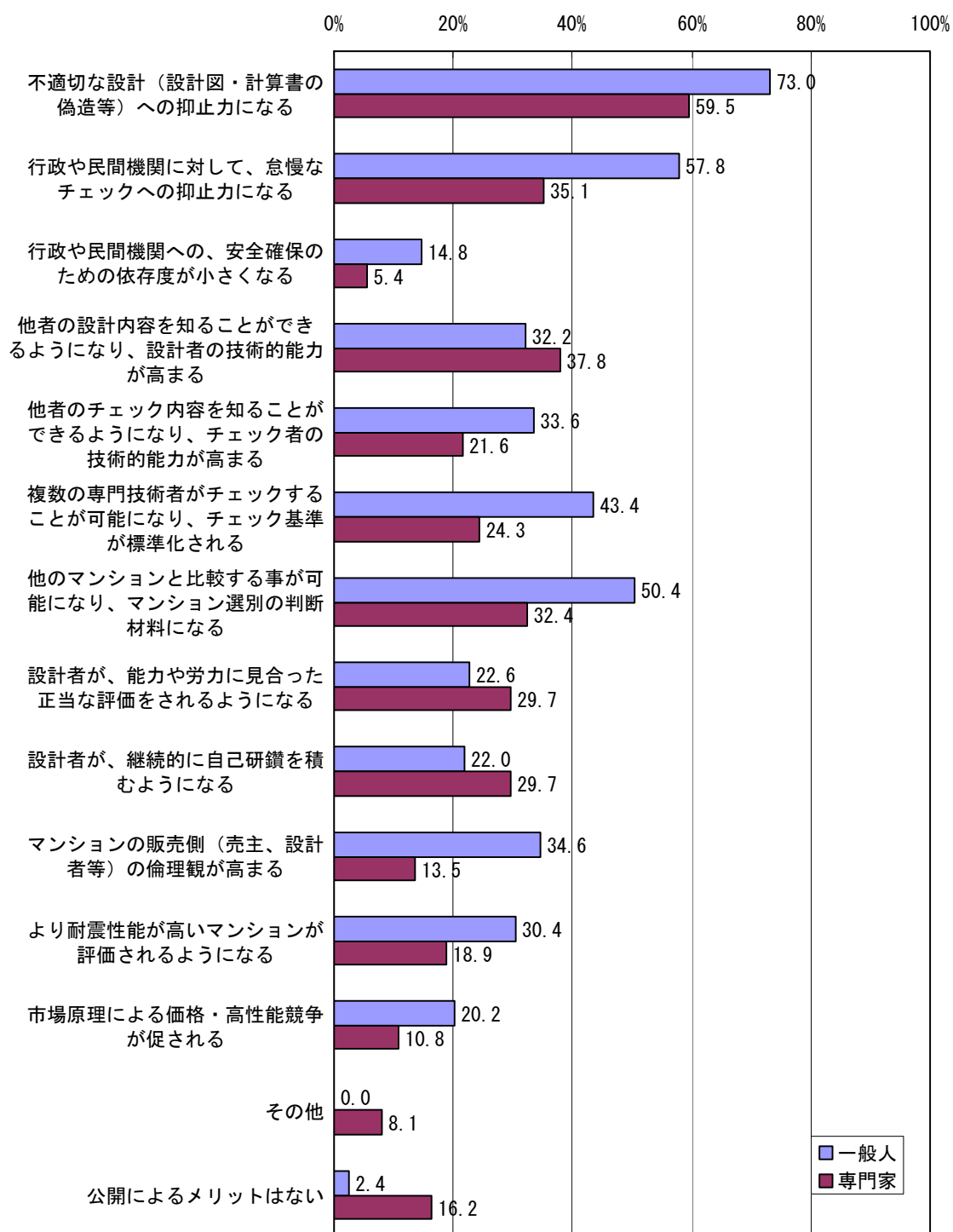


Q.4 構造図・構造計算書を公開し、偽造防止をはかることについて

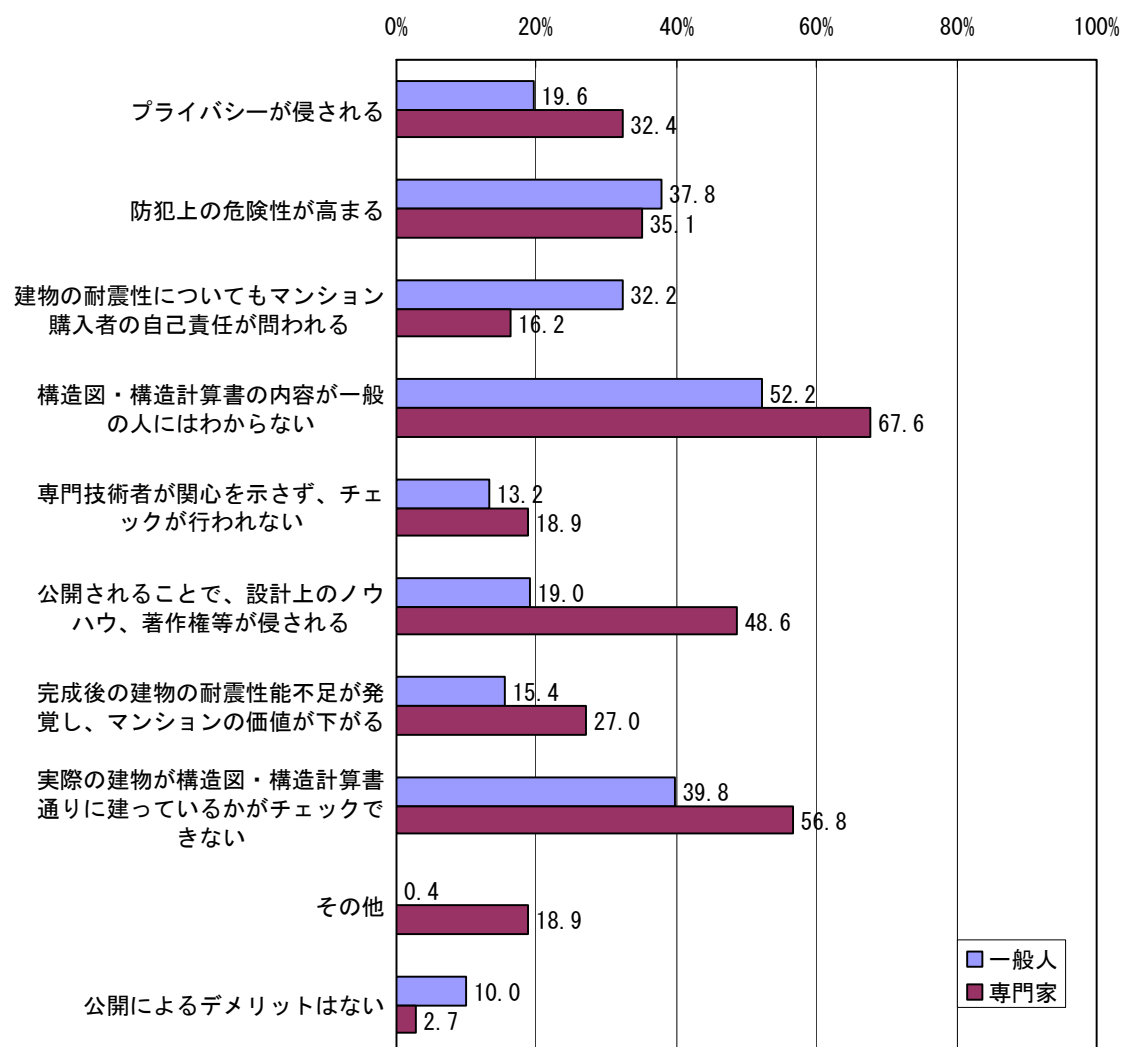
Q.4-1 構造図・構造計算書の公開（以下「公開」）は、構造計算書の偽造防止に効果があると思いますか？（単一選択）



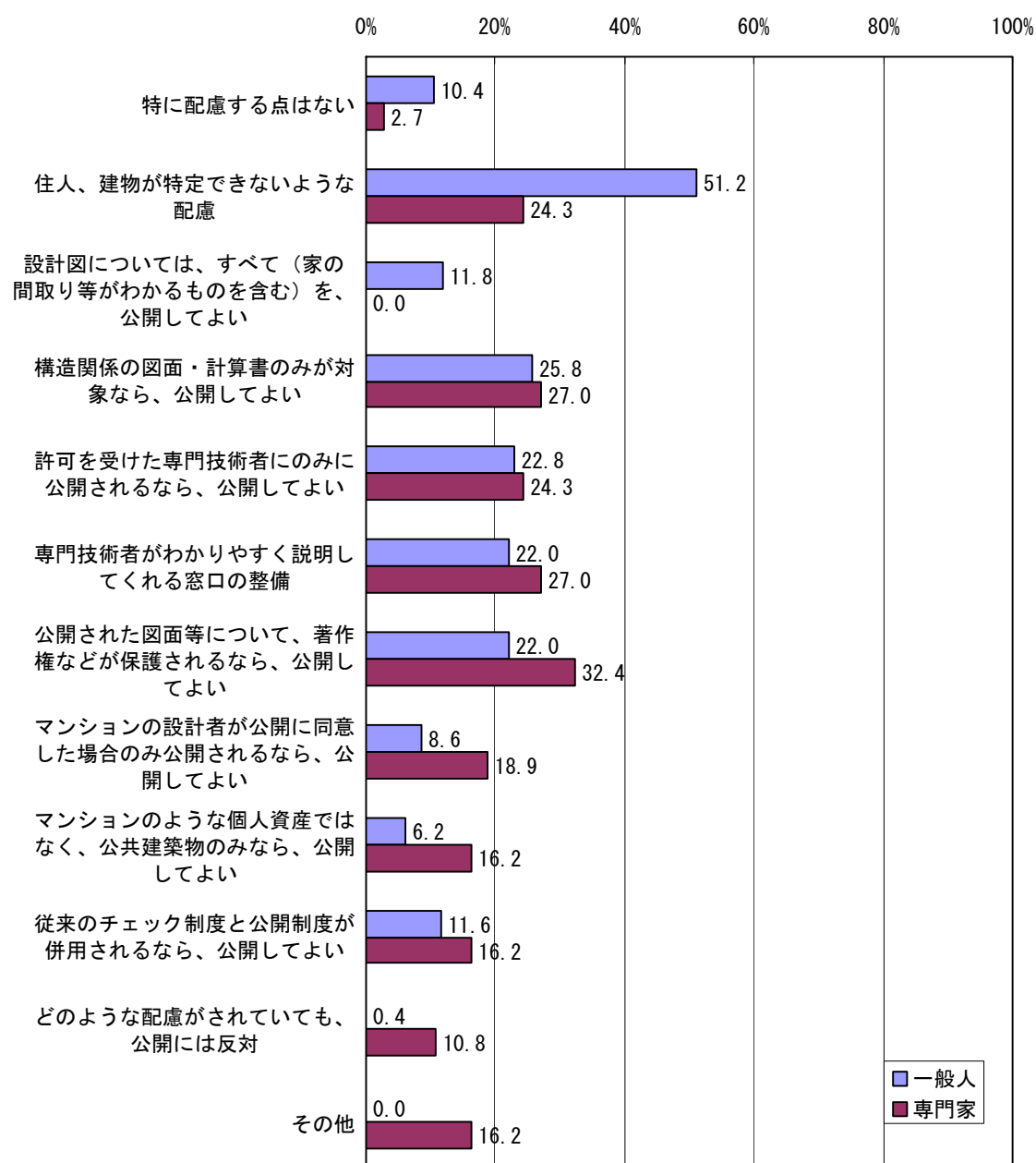
Q.4-2 公開することによるメリット(好ましい点)には、どのようなものがあると思いますか？(複数選択)



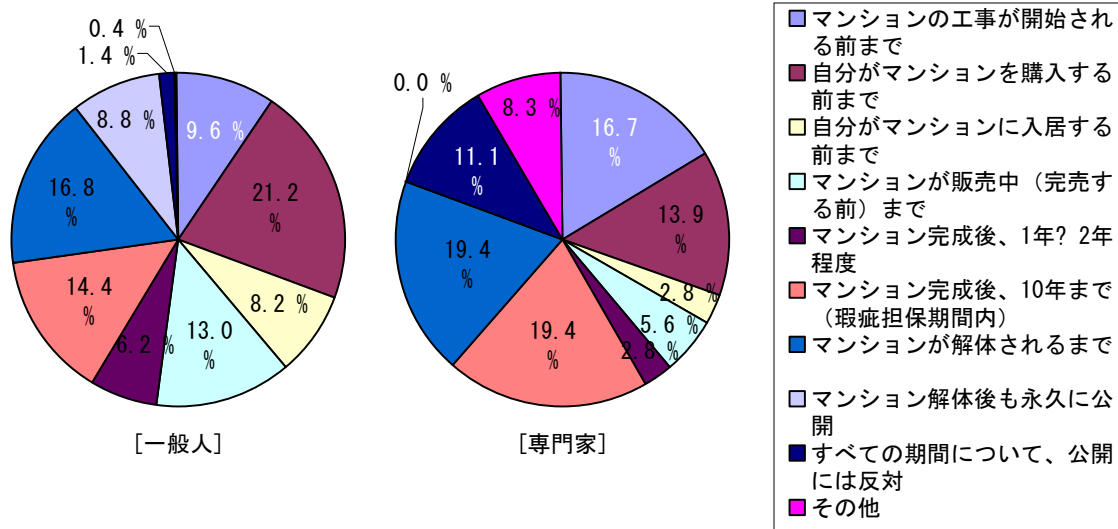
Q.4-3 公開することによるデメリット(好ましくない点)には、どのようなものがあると思いますか？
(複数選択)



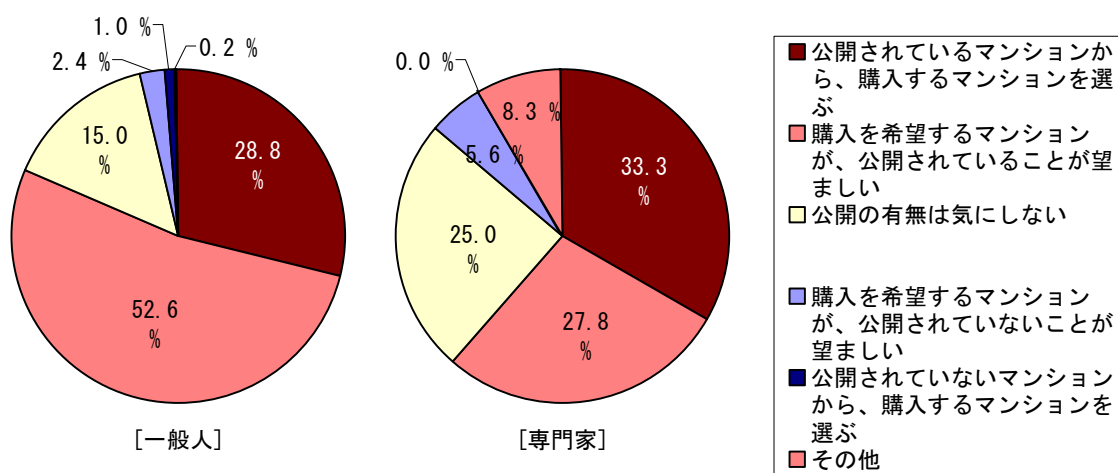
Q.4-4 公開の方法について、どのような点が配慮されている必要があると思いますか？（複数選択）



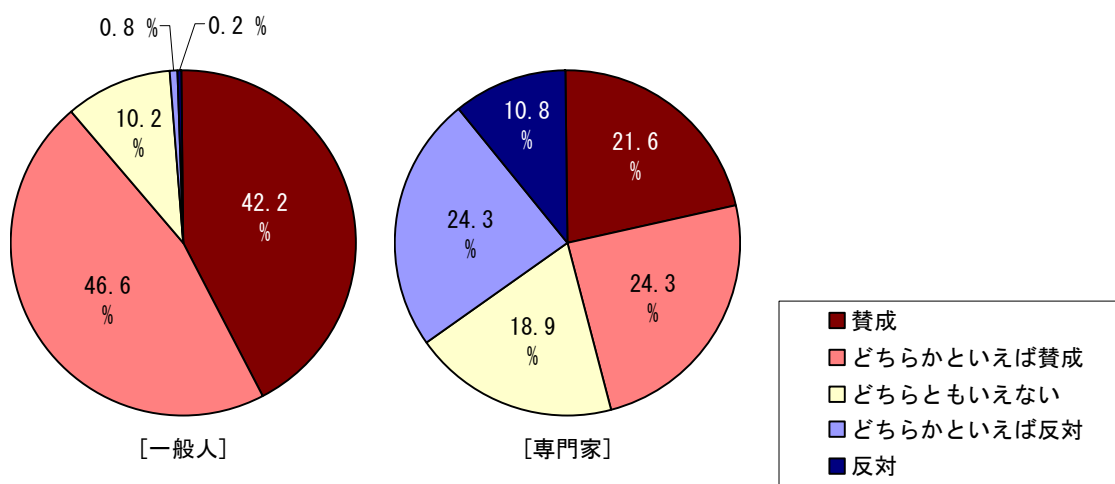
Q.4-5 公開の期間について、どの期間が適していると思いますか？（単一選択）



Q.4-6 マンションの購入予定者は、公開の有無によってどのように判断すると思いますか？[一般向け：あなたがマンションを購入しようとする場合、公開の有無でどのように判断されるでしょうか？]（単一選択）



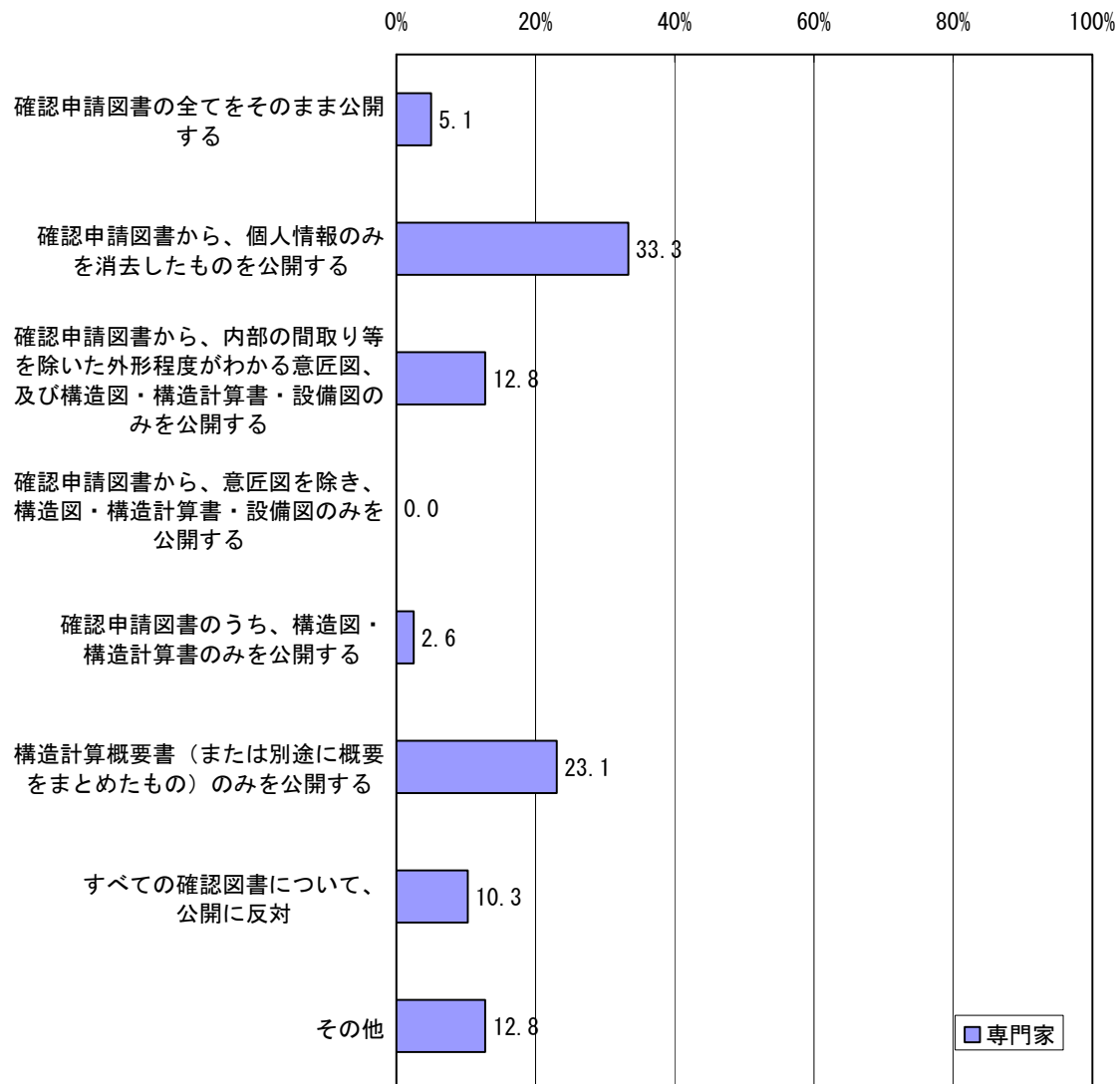
Q.4-7 あなたは公開に賛成でしょうか、反対でしょうか？（単一選択）



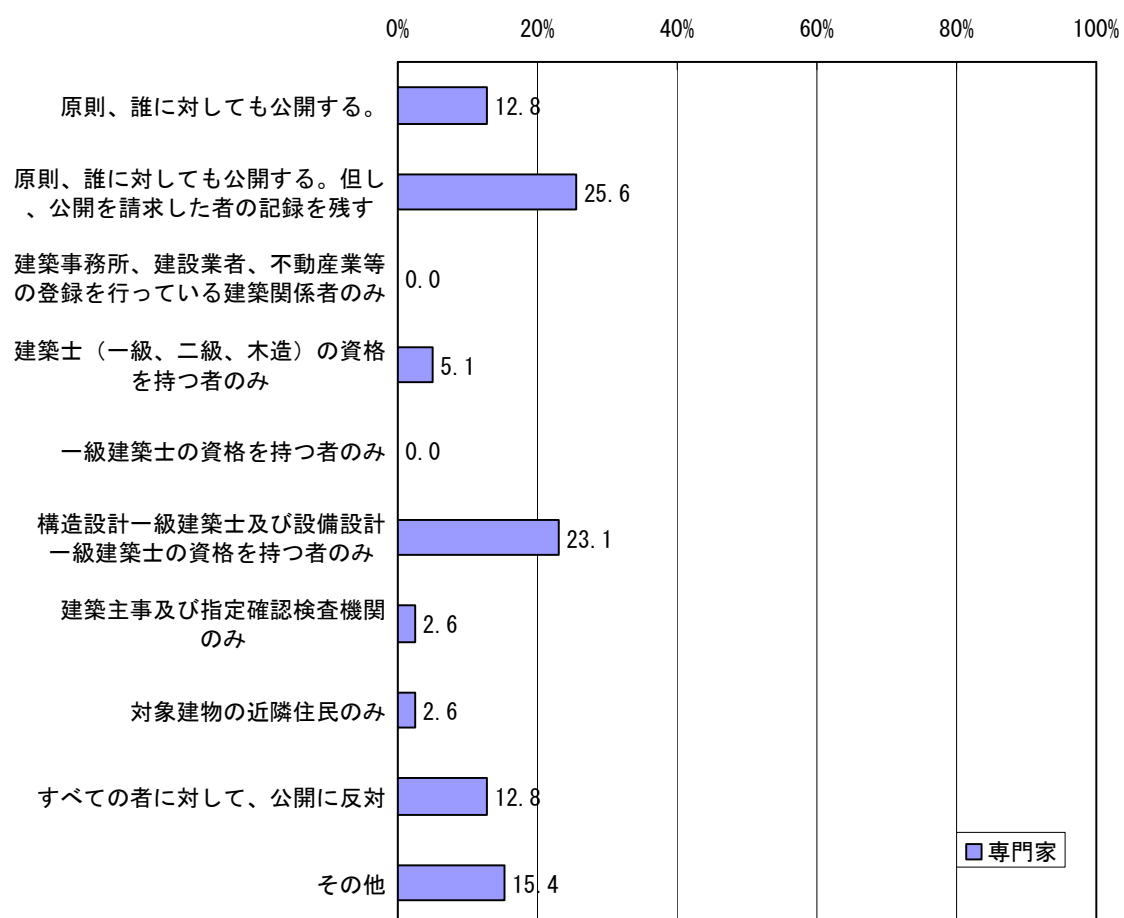
【 アンケートB 】

Q.5 公開のための具体的方策

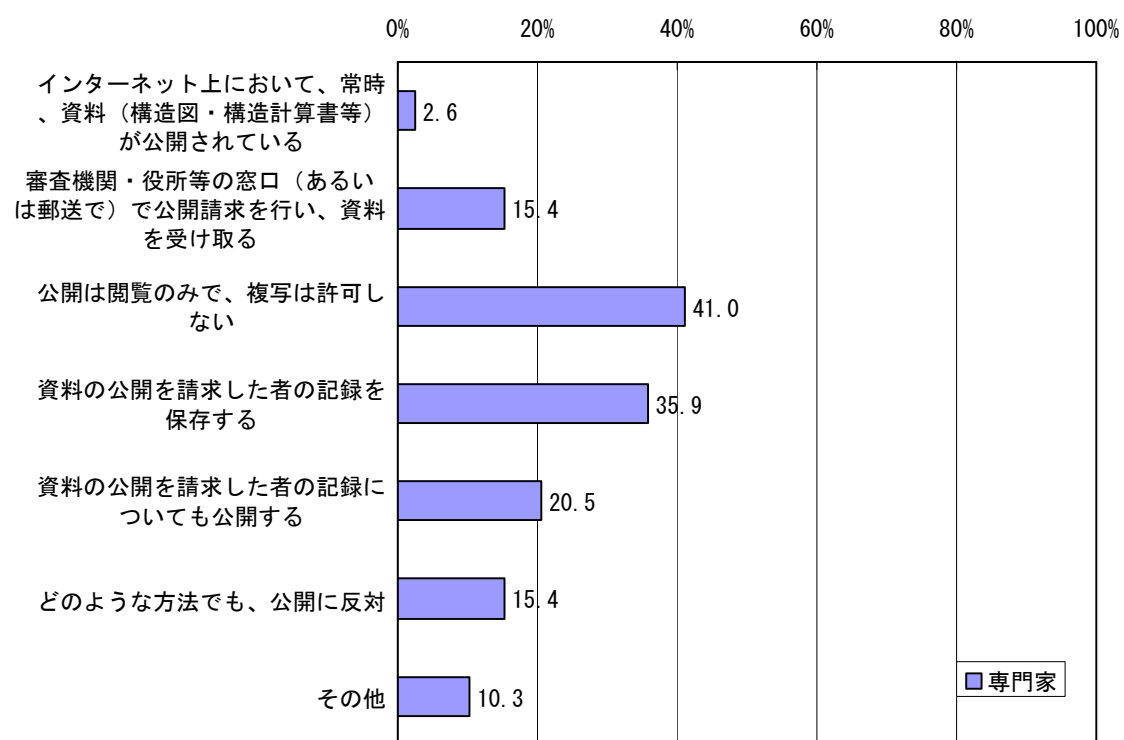
Q.5-1 公開する設計図書の範囲についてどの範囲が適切だと思いますか？（単一選択）



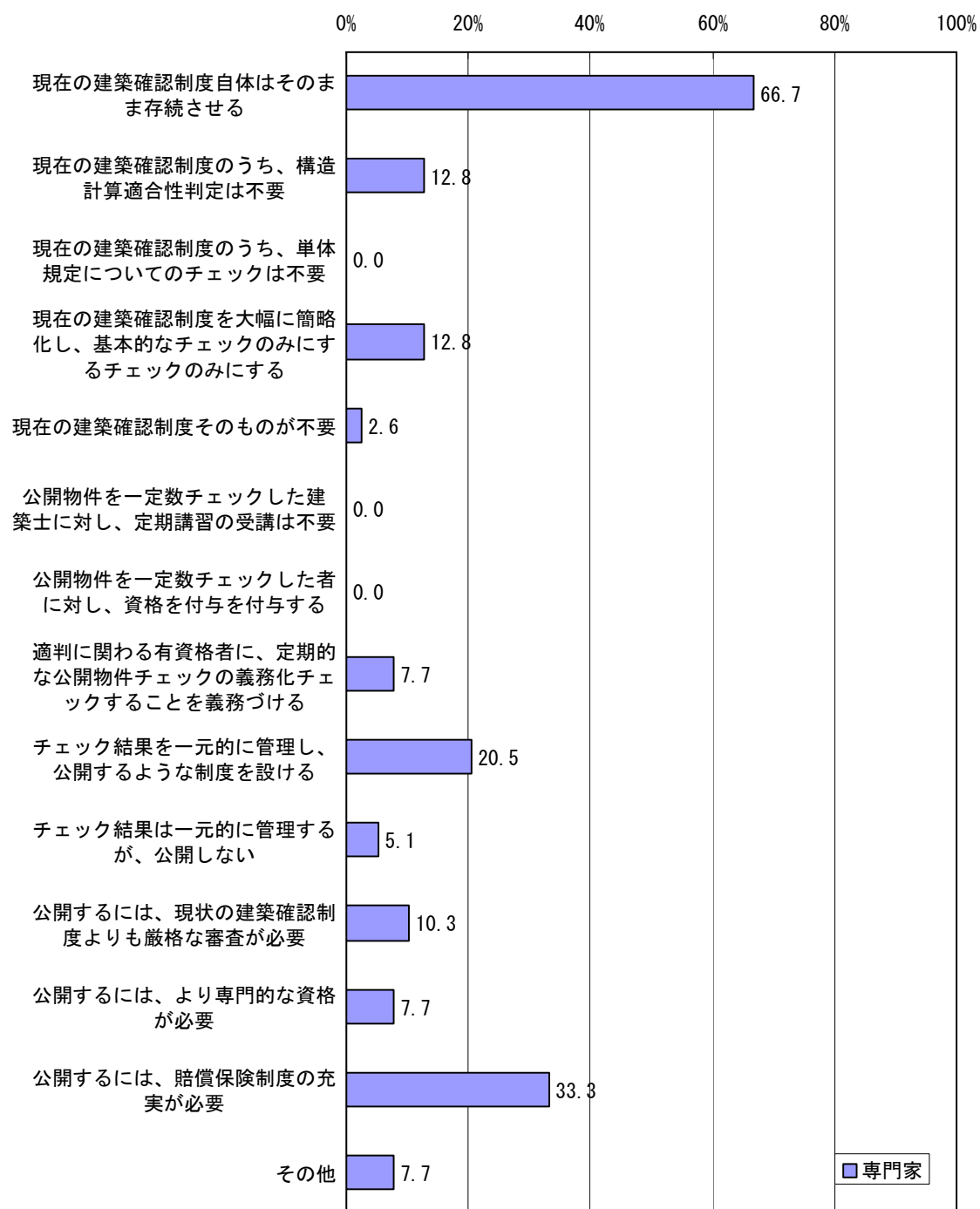
Q.5-2 公開の対象者としてどのような範囲が適切だと思いますか？（単一選択）



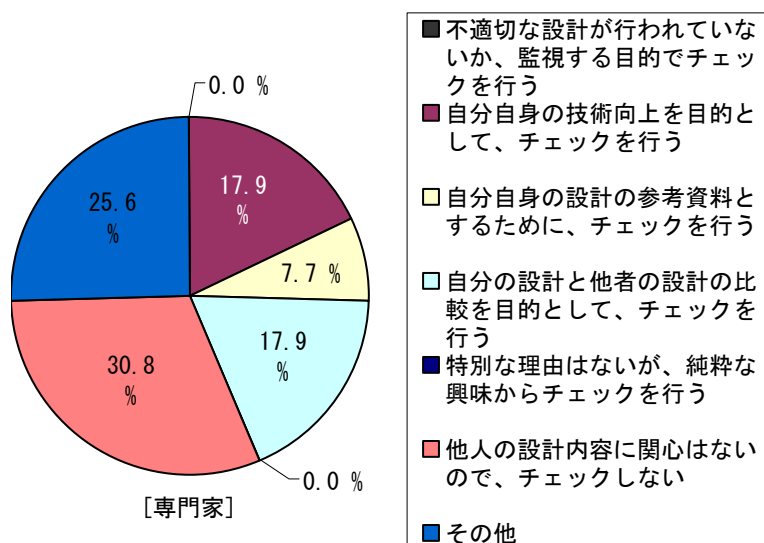
Q.5-3 公開の方法としてどのような方法が適切だと思いますか？（複数選択）



Q.5-4 公開が行われた場合の制度としてどのような制度が適切だと思いますか？（複数選択）



Q.5-5 公開された図面・計算書をチェックしますか？またその時の、動機は何ですか？（単一選択）



Q.5-6 公開は、一般の人と建築専門家の間のコミュニケーションを促す効果があると思いますか？（単一選択）

